

安全対策課

2-1-14 (決算書144ページ)

○生活安全対策費

○環境浄化対策事業

1 旅館・レンタルルーム規制条例等

本市では昭和58年に環境浄化に関する条例を制定し、昭和59年には吉祥寺本町一丁目の一部を環境浄化特別推進地区に指定した。環境浄化特別推進地区においては、旅館・レンタルルーム規制条例により、旅館の建築等（新築、増改築、大規模な修繕及び模様替、用途の変更）及びレンタルルーム営業について市長との協議が必要である。平成29年度は、旅館の建築等及びレンタルルーム営業の事前協議の実績はない。

- －武蔵野市旅館・レンタルルーム規制条例－
- －武蔵野市環境浄化に関する条例施行規則－
- －武蔵野市旅館の建築等に関する指導要綱－
- －武蔵野市レンタルルーム営業に関する指導要綱－

2 環境浄化審議会

環境浄化特別推進地区に関する事項、旅館・レンタルルーム規制条例に関する事項及び勧誘行為等適正化特定地区の指定に関する事項その他市長が必要と認める事項について調査及び審議を実施した。

開催日	H30.1.30 18:00～19:30
場所	本町コミュニティセンター
内容	吉祥寺駅周辺における環境浄化の実地調査及び今後の方針など
参加人数(人)	5

- －武蔵野市環境浄化に関する条例－
- －武蔵野市環境浄化に関する条例施行規則－

3 防犯活動等

市内で飲食店を営業する事業者を対象に火災防止、衛生管理及び暴力団排除についての講習会を実施した。

開催日	H29.10.6 14:00～16:00
場所	武蔵野芸能劇場
対象者	飲食店を営む者及びその従業員など
内容	火災防止、衛生管理、暴力団排除及び市の施策の紹介を行い、参加者には受講済ステッカーを配布など
参加人数(人)	50

- －武蔵野市環境浄化に関する条例－

4 まちづくり事業

環境浄化特別推進地区内における商業活性化事業に対する補助金を交付した。

事業区分	事業概要	備考
地域の環境浄化及び活性化	道路清掃 フラワーポットの設置 街路灯の電気料金助成	毎日実施 補助事業 〃

- －武蔵野市環境浄化に関する条例－
- －武蔵野市環境浄化に関する条例施行規則－
- －環境浄化特別推進地区における商業活動活性化事業補助金交付要綱－

5 防犯カメラの運用状況

本市が独自に運用している防犯カメラは、環境浄化特別推進地区内において昭和53年4月に3台、平成12年4月に1台、更に平成24年3月に4台を増設し、8台の防犯カメラを設置し、映像は東口交番にあるモニターで常時監視している。また、吉祥寺駅南口パークロード商店会には平成24年3月に6台の防犯カメラを設置した。平成24年3月には設置記念式典及び環境浄化推進啓発キャンペーンを実施し、現在14台の防犯カメラが吉祥寺駅周辺に配備され犯罪の抑止力が図られている。

- －武蔵野市環境浄化に関する条例－
- －武蔵野市環境浄化に関する条例施行規則－
- －武蔵野市防犯カメラの管理及び運用に関する規則－
- －環境浄化特別推進地区における防犯カメラの管理及び運用に関する要綱－

安全対策課

6 歳末特別環境浄化推進パトロール

吉祥寺駅周辺の安全・安心なまちづくりをピーアルするため、市長を先頭に市民や関係機関などと連携して歳末特別環境浄化推進パトロールを実施した。

日 時	H29. 12. 26 18:00～19:00
集 合 場 所	吉祥寺駅北口駅前ロータリー
巡 回 コ ー ス	環境浄化特別推進地区及び勧誘行為等適正化特定地区
参加人数(人)	151

—武蔵野市環境浄化に関する条例—
—武蔵野市つきまとい勧誘行為の防止及び路上宣伝行為等の適正化に関する条例—

○生活安全対策事業

1 市内安全パトロール

青色防犯パトロール隊であるホワイトイーグル（平成14年11月18日運用開始）による子どもたちへの見回り活動は、市内を3地区に分けて、3台の青色回転灯車両で、学校や子ども施設を中心に、立ち寄り施設132施設、周辺警戒113か所の巡回監視を実施した。また、ホワイトイーグル隊員による児童へのセーフティ教室を18回開催した。延べ参加人数1,066名。

—武蔵野市生活安全条例—
—武蔵野市生活安全条例施行規則—

2 武蔵野市市民安全パトロール隊

地域の方々の防犯活動の一環として、子どもたちを見守る市民安全パトロール隊（平成16年10月26日運用開始）を結成し、登下校時及び塾帰りの見守りを中心に活動を実施した。市内を3地区に分けて、66名（平成30年3月31日現在）の隊員で専用のジャンパー、帽子、腕章を身につけ、パトロール活動を実施し、平成29年度のパトロール実績は延べ2,956回、述べ参加者507名。

—武蔵野市生活安全条例—
—武蔵野市市民安全パトロール隊委員会設置要綱—
—武蔵野市市民安全パトロール隊設置要綱—

3 つきまとい勧誘行為等の指導

安全パトロール隊であるブルーキャップ（平成14年11月11日運用開始）が執ような客引きなどを対象に、つきまとい勧誘行為及び路上宣伝行為等の指導・警告を実施した。執ような客引きも一定水準まで抑えられている。以下が過去5年間の結果である。

(件)

内容 \ 年 度	25	26	27	28	29
つきまとい勧誘指導	41	17	11	10	11
つきまとい勧誘警告	26	—	2	—	3
通 知 書 交 付	—	—	—	—	—
路上宣伝行為指導	4,660	3,466	1,477	786	571

—武蔵野市つきまとい勧誘行為の防止及び路上宣伝行為等の適正化に関する条例—
—武蔵野市つきまとい勧誘行為の防止及び路上宣伝行為等の適正化に関する条例施行規則—

4 吉祥寺ミッドナイトパトロール

平成25年2月に発生した強盗殺人事件に伴い吉祥寺緊急安全対策会議が開催され、夜間帯のパトロールの必要性が認識され、4月1日から新たに深夜帯のパトロールとして吉祥寺ミッドナイトパトロール隊をスタートさせた。活動時間は午後11時から翌朝7時まで、吉祥寺駅周辺の半径500メートル以内を徒歩及び自転車にてパトロールを実施した。平成29年度は、前年度同様、大きな事件や出来事もなく無事終了できた。

—武蔵野市生活安全条例—

安全対策課

5 振り込め詐欺対策

振り込め詐欺に効果ある自動通話録音機を65歳以上の市民を対象に無料貸出しを実施した。これまでの貸出数は平成27年度145台、平成28年度80台、平成29年度175台、合計400台である。また、武蔵野警察署から振り込め詐欺注意喚起の警視庁メールを受信した際には、むさしの防災・安全メールを配信するとともにホワイトイーグル車両の拡声器を利用し、市民への注意喚起を実施した。防災・安全メール送信件数12件。

—武蔵野市生活安全条例—

6 吉祥寺安全対策会議

平成25年2月28日に吉祥寺で発生した強盗殺人事件を踏まえ、市民団体、商店会、警察署などの関係機関などと連携を図り、総合的な安全対策を推進するための会議を立ち上げた。この会議において今後の防犯対策として吉祥寺ミッドナイトパトロール隊（平成25年4月1日運用開始）による夜間帯パトロールと防犯カメラの増設を決議した。第1回は平成25年3月18日、第2回は平成25年4月22日、第3回は平成26年1月22日、第4回は平成26年12月10日に開催し、名称を吉祥寺緊急安全対策会議から吉祥寺安全対策会議に名称を変更した。また同時に吉祥寺商店会パトロールの発足を表明した。第5回は平成28年3月29日、第6回は平成29年3月29日、第7回は平成30年3月30日に開催した。29年度の参加人数31名。

—武蔵野市生活安全条例—

7 吉祥寺地区盛り場総合対策

平成27年1月から、月に一度、武蔵野警察署、吉祥寺商店会パトロール隊、防犯協会、学生パトロール隊、ガーディアンエンジェルスなどと連携し、吉祥寺のまちの夜間パトロールを実施した。実施回数10回、延べ参加者400名。

—武蔵野市生活安全条例—

8 吉祥寺駅周辺環境浄化官民合同パトロール

平成29年12月8日、警視庁主催による都内一斉における盛り場対策合同パトロールが実施されることから、武蔵野市においても、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、通常時より規模を拡大して官民一体となって環境浄化の推進をピーアールする夜間官民合同パトロールを実施した。延べ参加者100名。

—武蔵野市生活安全条例—

9 武蔵野市ながら見守り連携事業に関する協定締結

地域に密着した事業者の協力を得て、市民が安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、平成27年10月23日、日本郵便株式会社武蔵野郵便局と協定を締結し、さらに平成28年4月14日には多摩武蔵野しんきん協議会と協定を締結した。

—武蔵野市生活安全条例—

10 建築主に対する指導

新たに市内に戸数15戸以上の共同住宅などの建物を建築しようとする者に対し、当該建物における犯罪を予防するため、必要な設備の設置に関して武蔵野警察署長と協議するよう指導した。

年度	25	26	27	28	29
指導件数(件)	31	27	31	32	31
(うち共同住宅)	(17)	(14)	(21)	(18)	(28)

—武蔵野市生活安全条例—

—武蔵野市生活安全条例施行規則—

11 武蔵野市生活安全会議

市民生活の安全を確保するための施策を策定するため、市長を委員長とし関係機関の長を委員とする会議を開催した。

開催日	H30. 3. 28 10:00~11:00
場所	災害対策本部室
参加団体等	武蔵野警察署長、武蔵野消防署長、多摩府中保健所長、武蔵野市消防団長
内容	平成30年度武蔵野市生活安全計画(案)の承認について
参加人数(人)	5

—武蔵野市生活安全条例—

—武蔵野市生活安全条例施行規則—

安全対策課

12 武蔵野市生活安全対策推進協議会

生活安全計画の推進を図るため、市民団体及び関係機関等との協議を目的とした会議を開催した。

開催日	H29. 5. 25 10:00～11:30
場所	災害対策本部室
参加団体等	武蔵野防犯協会、武蔵野交通安全協会、小中学校校長会、小中学校PTA連絡協議会、私立小学校校長会、私立幼稚園連合会武蔵野地区、コミュニティ研究連絡会、消費者運動連絡会、クリーンむさしのを推進する会、日本ガーディアン・エンジェルス、武蔵野警察署、武蔵野消防署、多摩府中保健所、武蔵野市消防団、等
内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度武蔵野市生活安全計画の検討 各団体からの安全に関する活動について ホワイトイーグル、ブルーキャップ、ミッドナイト及び武蔵野市市民安全パトロール隊の活動状況について
参加人数(人)	27

－武蔵野市生活安全条例－
－武蔵野市生活安全条例施行規則－

13 武蔵野市市民安全大会

生活安全計画の推進を図るため、市民、市民団体及び関係機関等への周知を目的とした大会を開催した。

開催日	H29. 7. 1 10:00～11:45
場所	武蔵野スイングホール
参加団体等	武蔵野警察署、武蔵野消防署、多摩府中保健所、武蔵野市消防団、武蔵野防犯協会、武蔵野市生活安全対策推進協議会、東京都青少年・治安対策本部、一般市民ほか
内容	<p>平成 29 年度武蔵野市生活安全計画の公表</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域防犯活動の紹介（学生パトロール隊の活動について） 振り込め詐欺に関する寸劇
参加人数(人)	127

－武蔵野市生活安全条例－
－武蔵野市生活安全条例施行規則－

14 武蔵野市暴力団排除条例

都内でも有数の繁華街を抱える本市において、市の現状を踏まえた実効性の高い対策が必要なことから、本市の暴力団に対する強い姿勢を明らかにし、市や市民、事業者の責務等を明示した「武蔵野市暴力団排除条例」を平成 25 年 4 月に制定した。東京都条例とともに、この条例に基づいて市民、事業者、警察等の行政機関との協働により、安全・安心のまちづくりを推進した。

－武蔵野市暴力団排除条例－

○危機管理対策事業

1 AED 有効活用推進事業

平成 20 年 12 月 22 日、東京武蔵野ライオンズクラブから 4 台の AED 寄贈を受け、市内の 24 時間営業のコンビニエンスストアに設置したことから、救命事態発生時には市民への貸し出しを行う AED 有効活用推進事業を開始した。また、緊急時に自己所有 AED の貸し出しを行う協力事業者を募集した。（平成 30 年 3 月 31 日現在、41 事業所が登録済み）

－武蔵野市生活安全条例－

2 避難者サポートニュース

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災による原子力発電所の事故により、武蔵野市に避難された方へ様々な情報提供を行うための情報機関紙として「むさしの避難者サポートニュース」を発行した。平成 23 年度は月 2 回発行、平成 24 年度から月 1 回の発行、平成 28 年度からはお知らせする情報が少なくなったことから、3 か月に 1 回の発行とした。なお、平成 29 年度は 8 通を発行し、延べ 81 号を被災者の方々に送付している。

－武蔵野市生活安全条例－
－武蔵野市における東日本大震災に伴う避難者の登録に関する規則－

安全対策課

3 危機管理訓練

武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律(国民保護法)により、危機管理訓練を実施した。

	実施日	訓練名	参加者及び人数	訓練内容
1	H29. 7. 27	不発弾処理対策訓練	自衛隊、防災安全全部職員 参加人数 22名	・不発弾処理時における現地対策本部での情報収集訓練(図上訓練)
2	H29. 10. 13	テロ対策図上訓練	武蔵野警察署、武蔵野消防署 防災安全全部職員 参加人数 24名	・テロ対応初動の活動概要と警察・消防との連携
3	H29. 11. 27	新型インフルエンザ等対策訓練	多摩府中保健所職員、防災安全全部職員 参加人数 10名	・既存の「武蔵野市新型インフルエンザ対応マニュアル(第2版)」(平成22年4月改訂)を現状に適応し、かつ、関係機関の意見・要望を取り入れた新しい対応マニュアルに改訂するための意見交換会
4	H30. 2. 10	テロ対策実動訓練	第四機動隊爆発物処理班、警備部警備第二課、武蔵野警察署、小金井警察署、田無警察署、第八方面本部、武蔵野消防署、JR吉祥寺駅、関東バス武蔵野営業所、吉祥寺活性化協議会、平和通り商店会協同組合、学生パトロール、防災安全全部職員、警察犬ほか 参加人数 129名 犬 2頭	<ul style="list-style-type: none"> ・「はなこみち」での爆破テロによる発災を想定した避難訓練 ・発災時の不審物件等の検索、規制線・警戒区域の設定、現場保存、トリアージ、負傷者の救助・救護・搬送訓練 ・平和通り上でのバス車内爆発物発見を想定した避難訓練 ・爆発物発見時の爆発物の検索、規制線の設定、現場保存、爆発物処理訓練 ・初動本部及び現地調整所の設置・運営、避難誘導訓練

－武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律(国民保護法)－

4 全国瞬時警報システム(J-ALERT)

有事情報に関する情報や緊急地震速報といった時間的な余裕がない場合、人工衛星を用いて市区町村の防災行政無線等を自動起動させ、迅速に国からの情報を市民に伝達する装置が全国瞬時警報システム(Jアラート)である。本市では平成23年3月末に整備を完了し、平成23年4月1日から運用を開始した。平成29年11月14日に第1回目、平成30年3月14日に第2回目のJ-ALERT全国一斉自動放送試験を実施、防災行政無線屋外拡声器を使用し、午前11時に訓練放送を配信した。

－武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律(国民保護法)－

9-1-4 (決算書254ページ)

○災害対策費

○一般管理経費

1 災害対策職員住宅

休日・夜間等における災害発生時の緊急初動態勢を確保するため、災害対策職員住宅の運用管理を実施した。

住宅名	所在地	種別
北町災害対策職員住宅	吉祥寺北町1-11-7	世帯住宅 2DK (2戸)
東町災害対策職員住宅	吉祥寺東町4-9-4	世帯住宅 2LDK (2戸) 単身者住宅 1K (16戸)
中町災害対策職員住宅	中町3-5-12	単身・世帯住宅兼用 1DK (8戸)
境南町災害対策職員住宅	境南町3-16-7	単身・世帯住宅兼用 1DK (9戸)

－武蔵野市災害対策職員住宅管理規程－

－休日、夜間等における災害発生時の緊急初動態勢に関する規程－

防災課

防 災 課

9-1-1 (決算書 252 ページ)

○常備消防費

1 消防事務委託

常備消防を東京都に委託する。

(1) 消防事務委託経費の推移

(単位：千円)

年度	区分	委 託 費	前年度比較
25		1,531,549	△82,765
26		1,565,681	34,132
27		1,570,377	4,696
28		1,610,902	40,525
29		1,602,159	△8,743

(2) 委託消防力の現況

① 消防職員数

(人)

区分 署所別	職 員 数							
	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副消防士長	主事	計
本 署	1	3	12	28	25	37	3	109
武蔵境	—	—	1	8	13	16	—	38
吉祥寺	—	—	1	10	9	18	—	38
計	1	3	14	46	47	71	3	185

② 消防自動車数

(台)

区分 署所別	種 別										
	ポンプ車	梯子車	化学車	救急車	査察広報車	指揮隊車	災害多目的車	救助車	非常用ポンプ車	非常用救急車	計
本 署	1	1	—	1	3	1	1	1	2	1	12
武蔵境	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	3
吉祥寺	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	3
計	4	1	1	3	3	1	1	1	2	1	18

(3) 火災発生状況

① 火災発生及び損害件数

火災件数(件)	建 物				車 両	その他
	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や		
31	0	—	5	18	1	7
焼失床面積 (㎡)	損害見積額(千円)		罹災世帯(世帯)	罹災人員(人)	死 者(人)	負傷者(人)
151	27,531		30	57	2	8

② 火災原因別件数

原因別	放 火・ 放火疑い	電気機器 ・ 配 線	たばこ	ガス器具	火遊び	たき火	その他	計
件 数 (件)	—	9	7	4	—	—	11	31

防災課

③月別火災発生状況

月 別	火災発生件数 (件)	焼失面積 (㎡)	主 な 火 災 現 場
4	—	—	
5	5	44	5/25 境
6	4	—	
7	2	55	7/6 境
8	3	—	
9	3	—	
10	1	—	
11	2	1	11/13 吉祥寺本町
12	5	15	12/1 緑町
1	2	36	1/6 吉祥寺東町
2	2	—	
3	2	—	
計	31	151	

④町別火災発生件数

(件)

町 別	東 吉 祥 町 寺	南 吉 祥 町 寺	本 吉 祥 町 寺	北 吉 祥 町 寺	御 殿 山	中 町	西 久 保	緑 町	関 前	八 幡 町	境	境 南 町	桜 堤	計
件数	3	4	2	3	1	2	1	5	—	1	2	6	1	31

⑤武蔵野市内救急隊出場状況及び救護人員

種 別 月 別	事故 件数 (件)	収容 人員 (人)	事 故 等 の 内 訳									
			交通事故		急 病 人		火災負傷		一般怪我		その他	
			事故 件数 (件)	収容 人員 (人)								
4	585	540	37	33	336	305	1	0	124	119	87	83
5	678	609	42	39	410	372	5	1	113	99	108	98
6	594	540	46	42	368	333	0	0	103	93	77	72
7	715	648	36	32	457	407	3	1	127	119	92	89
8	635	588	27	26	411	370	1	1	114	112	82	79
9	619	564	41	38	400	356	1	0	102	99	75	71
10	655	606	50	46	405	371	0	0	123	115	77	74
11	667	612	44	43	403	359	0	0	133	124	87	86
12	734	681	43	40	456	420	3	0	129	123	103	98
1	858	789	55	47	547	498	3	2	138	130	115	112
2	677	614	40	37	415	375	1	1	118	102	103	99
3	699	637	44	40	411	370	1	0	140	127	103	100
計	8,116	7,428	505	463	5,019	4,536	19	6	1,464	1,362	1,109	1,061

— 消防法 —

防災課

9-1-2 (決算書 252 ページ)

○非常備消防費

1 消防団

消防団は、災害時には消防署と連携して延焼阻止や救助救出活動等に従事し、平常時は地域住民に対し初期消火や応急救護等について技術的な訓練指導を行うなど、地域防災の中核として重要な役割を担っている。

(1) 組織

① 本部

(人)

団 長	副団長	分団長	班 長	団 員	計
1	3	6	1	8	19

② 分団

(人)

分団数	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
10 個分団	10	10	20	40	152	232

(2) 消防団行事及び訓練演習

月 日	行事及び訓練演習	場 所
4/1	役員改選（辞令交付式）（本部・全団員）	市役所
4/12	規律訓練（新入団員）	市役所
5/13	消防団員専科教育<警防科>	東京都消防訓練所
5/20	水防訓練（本部・全分団）	市立むさしの市民公園
5/20	消防団員専科教育<機関科>	東京都消防訓練所
6/10	消防団員特別教育<救急科>	東京都消防訓練所
6/25	放水訓練（本部・全分団）	第八方面訓練場
7/1	幹部教育研修<初級 幹部科>	東京都消防訓練所
8/26	はらっぱ防災フェスタむさしの（本部・全分団）	都立武蔵野中央公園
9/10	北多摩地区消防大会（本部・全分団）	国営昭和記念公園
9/16～17	幹部教育研修<指揮幹部科>	東京都消防訓練所
10/29	総合防災訓練（全分団）	団本部室及び市内全域
11/9	庁舎総合防災訓練（2 個分団）	武蔵野市役所
11/9～15	秋の火災予防運動実施（本部・全分団）	市内全域
	〃 市内巡回広報（全分団）	〃
	〃 各家庭防火診断（全分団）	〃
11/16～17	出初式に向けた操法訓練（全分団）	市立第一中学校
11/18	武蔵野消防署震災訓練（1, 4, 7, 9 分団）	武蔵野消防署受持管内他
11/19	訓練所教官を迎えての訓練（5 個分団）	市立第一中学校
12/10	消防団員特別教育<救助科>	東京都消防訓練所
12/26～31	歳末消防特別警戒（全分団巡回広報）	市内全域
12/27	〃 警戒本部巡視（団本部）	各分団詰所
12/30	〃 〃 （市長他）	武蔵野消防署本署・出張所及び各分団詰所
1/12	出初式予行演習（本部・全分団）	都立武蔵野中央公園
1/14	出初式（本部・全分団）	都立武蔵野中央公園
1/26	文化財防火デーに伴う演習（1 個分団）	安養寺
2/11	幹部教育研修<上級幹部>	東京都消防訓練所
3/1～7	春の火災予防運動実施（本部・全分団）	市内全域
	〃 市内巡回広報（全分団）	〃
	〃 各家庭防火診断（全分団）	〃

防災課

(3) 消防員出動状況 (火災等)

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計
		市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	
本部	回数	-	-	2	1	1	1	2	-	-	-	1	-	-	1	2	-	2	1	1	-	1	-	1	1	18
	延人数	-	-	8	2	5	1	6	-	-	-	2	-	-	2	8	-	7	2	6	-	5	-	4	1	59
1分団	回数	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3
	延人数	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	22
2分団	回数	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	5
	延人数	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	9	-	5	-	6	-	-	-	-	-	28
3分団	回数	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4
	延人数	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	15
4分団	回数	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-	8
	延人数	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	12	-	6	-	3	-	-	-	-	32
5分団	回数	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	3	1	1	-	1	-	1	-	12
	延人数	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	8	5	-	24	1	2	-	8	-	10	-	75
6分団	回数	-	-	2	1	1	1	2	-	-	-	1	-	-	1	1	-	3	-	-	-	1	-	1	-	15
	延人数	-	-	23	4	8	5	10	-	-	-	10	-	-	12	10	-	21	-	-	-	7	-	15	-	125
7分団	回数	-	-	1	1	1	1	2	-	-	-	1	-	-	1	1	-	3	-	-	-	1	-	1	1	15
	延人数	-	-	22	2	9	2	12	-	-	-	7	-	-	10	4	-	19	-	-	-	4	-	10	8	109
8分団	回数	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	1	8
	延人数	-	-	13	-	10	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	8	-	10	9	77
9分団	回数	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	6
	延人数	-	-	17	-	17	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	9	-	74
10分団	回数	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
	延人数	-	-	13	-	18	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	66
合計	回数	-	-	13	3	6	3	12	-	-	-	6	-	-	4	11	-	17	2	6	-	6	-	6	4	99
	延人数	-	-	121	8	67	8	93	-	-	-	35	-	-	32	54	-	104	3	34	-	35	-	58	30	682

防災課

(4) 消防団員出動状況（誤報等）

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計
		市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	
本部	回数	1	1	3	-	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-	16
	延人数	2	1	8	-	8	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	12	-	5	-	43
1分団	回数	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	6
	延人数	-	-	4	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	10	-	7	-	39
2分団	回数	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	8
	延人数	-	-	9	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	10	-	3	-	36
3分団	回数	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	7
	延人数	-	-	8	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	9	-	5	-	33
4分団	回数	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	6
	延人数	-	-	6	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	4	-	3	-	4	-	31
5分団	回数	1	-	2	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	4	-	1	-	13
	延人数	5	-	14	-	15	8	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	6	-	10	-	7	-	73
6分団	回数	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	2	-	13
	延人数	3	-	32	-	5	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	4	-	16	-	11	-	85
7分団	回数	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6
	延人数	2	2	9	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
8分団	回数	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
	延人数	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-
9分団	回数	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5
	延人数	-	11	11	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	8	-	48
10分団	回数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3
	延人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	13	-	34
合計	回数	4	3	17	-	10	2	-	-	-	-	6	-	-	-	4	-	-	-	7	-	20	-	13	-	86
	延人数	12	14	114	-	59	9	-	-	-	-	53	-	-	-	29	-	-	-	36	-	81	-	77	-	484

防災課

(5) 消防団員出動状況（訓練・警戒等）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本部	回数	6	12	14	13	7	8	13	11	5	8	4	8	109
	延人数	37	42	50	15	27	18	51	79	27	43	5	29	423
1分団	回数	5	4	2	4	5	3	3	11	6	4	—	9	56
	延人数	30	43	29	44	80	44	38	104	86	69	—	88	655
2分団	回数	4	3	2	3	4	3	4	6	9	6	1	2	47
	延人数	29	19	26	26	23	12	47	54	103	75	15	9	438
3分団	回数	4	3	1	2	1	1	4	6	7	4	1	3	37
	延人数	16	19	10	5	6	2	36	28	68	54	6	13	263
4分団	回数	3	3	3	1	2	5	4	5	6	4	2	5	43
	延人数	16	19	36	10	13	33	51	49	77	49	12	29	394
5分団	回数	6	3	4	2	2	7	4	10	6	8	3	8	63
	延人数	37	17	54	10	13	28	35	51	73	67	3	40	428
6分団	回数	6	6	2	—	2	4	4	9	8	4	2	7	54
	延人数	29	29	16	—	13	34	38	68	73	54	24	36	414
7分団	回数	4	5	3	4	5	4	3	6	6	5	—	3	48
	延人数	19	35	13	8	32	21	34	48	84	59	—	15	368
8分団	回数	3	5	4	—	3	1	9	7	5	4	—	3	44
	延人数	13	50	44	—	18	5	59	47	62	41	—	13	352
9分団	回数	5	4	3	1	6	1	5	7	8	4	—	3	47
	延人数	41	41	34	18	40	4	33	57	91	52	—	11	422
10分団	回数	3	6	6	3	5	3	6	7	6	4	—	2	51
	延人数	16	54	66	26	43	21	62	53	87	53	—	12	493
合計	回数	49	54	44	33	42	40	59	85	72	55	13	53	599
	延人数	283	368	378	162	308	222	484	638	831	616	65	295	4,650

(6) 都三多摩地区消防運営協議会

年月日	内 容	場 所
H29. 5. 19	東京都三多摩地区消防運営協議会 通常総会	東京自治会館
H30. 1. 23	” 第二部会	東京自治会館
H30. 1. 25	” 第一部会	東京自治会館

2 出初式

開催日 H. 30. 1. 14（日）
 場 所 都立武蔵野中央公園
 主な内容 検閲、分列行進、消防演技、特別演技（亜細亜大学吹奏楽団・武蔵野消防署はしご隊）
 表彰
 優良分団表彰 （東京都三多摩消防団連絡協議会長）第8分団
 優良分団表彰 （東京消防庁武蔵野消防署長）第1、5分団
 優良分団表彰 （市長）第3、10分団
 永年勤続団員表彰 （市長）28名 他

— 消防法 —
 — 武蔵野市消防団に関する条例 —

防災課

9-1-3 (決算書 254 ページ)

○消防施設費

1 消防水利

武蔵野消防署との消防水利の設置等に関する協定に基づき効果的な消防水利の確保に努めている。

(1) 消防水利現況

① 防火水槽

区分 町別	10～20m ³ 未満			20～40m ³ 未満			40～100m ³ 未満			100m ³ 以上			合計		
	公設	私設	計	公設	私設	計	公設	私設	計	公設	私設	計	公設	私設	計
吉祥寺東町	—	—	—	—	—	—	12	—	12	10	1	11	22	1	23
吉祥寺南町	—	—	—	1	—	1	10	7	17	5	2	7	16	9	25
吉祥寺北町	—	—	—	1	1	2	27	17	44	6	—	6	34	18	52
吉祥寺本町	—	—	—	1	—	1	17	12	29	5	3	8	23	15	38
御殿山	—	—	—	—	—	—	4	2	6	—	1	1	4	3	7
中町	—	—	—	2	1	3	21	21	42	2	7	9	25	29	54
西久保	—	—	—	2	—	2	12	3	15	3	1	4	17	4	21
緑町	—	—	—	—	—	—	7	5	12	5	2	7	12	7	19
八幡町	—	—	—	—	—	—	13	2	15	6	—	6	19	2	21
関前	—	—	—	1	—	1	14	2	16	7	2	9	22	4	26
境	—	—	—	1	—	1	19	19	38	5	4	9	25	23	48
境南町	—	—	—	3	1	4	22	6	28	7	9	16	32	16	48
桜堤	—	—	—	2	—	2	7	10	17	5	4	9	14	14	28
総計	—	—	—	14	3	17	185	106	291	66	36	102	265	145	410

② 消火栓

町別	区分	公設	私設	計	町別	区分	公設	私設	計
吉祥寺東町		72	—	72	緑町		27	6	33
吉祥寺南町		109	—	109	関前		77	—	77
吉祥寺本町		115	—	115	八幡町		35	—	35
吉祥寺北町		100	4	104	境		106	1	107
御殿山		26	—	26	境南町		106	2	108
中町		82	—	82	桜堤		31	—	31
西久保		66	—	66	計		952	13	965

③ その他

種別	区分	公設	私設	計	種別	区分	公設	私設	計
貯水池	100m ³ 以上	1	—	1	プール 池水路 蓄熱槽		19	6	25
	40m ³ 以上	—	2	2			—	—	—
	40m ³ 未満	1	—	1			3	—	3
雨水貯留槽		1	—	1	計		26	8	34

(2) 消防水利施設整備状況

① 新設 (消火栓)

種別	設置年月	設置場所	規模・種類
消火栓	H30.3	御殿山2丁目20番先外1路線	75m/m 地下式単口

② 修理等 (消火栓)

種別	内容	件数(件)
消火栓	取替、消火栓室取替	5

— 消防法 —

防災課

9-1-4 (決算書 254 ページ)

○一般管理経費

1 防災会議

(1) 防災会議開催状況

なし

(2) 委員の任命

29 年度中新規任命 1 名

29 年度中新規委嘱 10 名

29 年度中異動による補充 -

29 年度中任期満了による再委嘱 3 名

— 武蔵野市防災会議条例 —

2 災害応急対策活動

(1) 台風 3 号に伴う対応措置

(日 時) H29. 7. 4 20:14~23:14

(活動態勢) 第 1 警戒態勢

(被害概要) なし

(2) 大雨に伴う対応措置

(日 時) H29. 7. 18 15:21~18:13

(活動態勢) 第 1 警戒態勢

(被害概要) その他 1 件：
北町高齢者総合センター 2 階にて雨漏り

(3) 台風 5 号に伴う対応措置

(日 時) H29. 8. 7~8. 8 16:30~翌 5:46

(活動態勢) 第 1 警戒態勢

(被害概要) なし

(4) 大雨に伴う対応措置

(日 時) H29. 8. 19 16:50~0:30

(活動態勢) 第 1 警戒態勢 16:50~18:07、22:40~0:30

第 2 警戒態勢 18:07~22:40

(被害概要) 床上浸水 5 件 (半地下スペースへの浸水 3 件)、床下浸水 7 件、その他浸水 7 件

(5) 台風 18 号に伴う対応措置

(日 時) H29. 9. 17~9. 18 12:00~翌 5:45

(活動態勢) 第 1 警戒態勢

(被害概要) 倒木 1 件

(6) 台風 21 号に伴う対応措置

(日 時) H29. 10. 22~10. 23 13:00~翌 8:30

(活動態勢) 第 1 警戒態勢 13:00~21:00

第 2 警戒態勢 21:00~翌 8:30

(被害概要) 倒木 1 件、枝折れ 1 件、その他火災 1 件

(7) 台風 22 号に伴う対応措置

(日 時) H29. 10. 29 14:00~21:30

(活動態勢) 第 1 警戒態勢

(被害概要) なし

(8) 大雪に伴う対応措置

(日 時) H30. 1. 22~1. 23 14:00~翌 8:30

(活動態勢) 第 1 警戒態勢

(被害概要) 人的被害 13 件、倒木 1 件、枝折れ 3 件、水道管破裂 220 件

鉄道・バス 遅延、一部運休

その他 市役所バス停の看板損傷 (運行バスの衝突による)

(9) 大雨に伴う対応措置

(日 時) H30. 3. 9 4:10~7:21

(活動概要) 第 2 警戒態勢 4:10~7:21

第 1 警戒態勢 7:21~

(被害概要) 床上浸水 1 件

防災課

3 災害援助

(1) 災害見舞金及び死亡弔慰金支給状況

全 焼 (壊)			半 焼 (壊)		
件数(件)	世帯 (単身)	支給金額(円)	件数(件)	世帯 (単身)	支給金額(円)
3	3(2)	60,000	—	—	—
火災による水損			床上浸水		
件数(件)	世帯 (単身)	支給金額(円)	件数(件)	世帯 (単身)	支給金額(円)
4	4(2)	30,000	8	8(2)	140,000
死亡弔慰金					
件数(件)	人数	支給金額(円)			
2	2	150,000			

— 武蔵野市災害見舞金等支給条例 —

(2) 被災者一時宿泊施設使用状況

宿泊人員	開設日数
0 人	0 日

4 補助事業

災害に強いまちづくりを推進するため、市民が行う各種の安全対策に対し、補助金を交付している。

(1) ブロック塀等改善補助及び改善資金融資あっ旋（利子補給）制度

対象：市が行った調査（平成 14 年度）により危険と判断されたブロック塀等の所有者

区分	内 容	1m基準額(円)	申請件数(件)	補助金額(円)
改修	既存のブロック塀を取り壊し、新たにパイプフェンス、ネットフェンス、ブロック塀等に改修する。	6,000	2	42,000

— 武蔵野市ブロック塀等改善補助金交付要綱 —

(2) 災害対策用民間井戸維持管理補助 対象：市内の指定井戸所有(管理)者

一人当たり補助額(円)	補助対象者数(人)	補助金額(円)
9,000	88	792,000

— 武蔵野市災害対策用井戸の所有者に対する維持管理補助金交付要綱 —

(3) 家庭用消火器等購入補助 対象：市内在住世帯

一世帯当り補助金額(円)	申請件数(件)	補助金額(円)
500	1	500
1,500	13	19,500
2,500	741	1,852,500
計	755	1,872,500

— 武蔵野市家庭用消火器など購入補助金交付要綱 —

(4) 武蔵野市民防災協会

市民の防災思想の普及高揚をはじめ、実践的防災行動力の向上を図り、地域社会の安全と福祉の増進に寄与することを目的としている。

主な活動として、地域活動事業（防災タウンウォッチング、地域設置消火器の点検・維持管理等）、市民啓発事業（防災キャラバンの実施、日本赤十字看護大学防災セミナーへの助成等）、斡旋販売事業（防災用品の普及・販売等）を実施している。

平成 29 年度に、市民防災協会主催で実施した主な研修会等は下記のとおり。

【武蔵野市自主防災組織研修】

(日 時) ①H30. 3. 18 9:30～12:00
②H30. 3. 19 9:30～12:00

(場 所) 市役所 802 会議室

(参加者数) ①自主防災組織 18 団体 32 名、防災推進員 18 名
②自主防災組織 12 団体 18 名、防災推進員 16 名

(講 師) 公益財団法人市民防災研究所
伊藤 英司

【子育て世代向け防災講座】

(日 時) H30. 3. 20 10:30～12:00

(場 所) 市役所 802 会議室

(参加者数) 19 名 (内 幼児 8 名)

(講 師) N P O 法人 MAMA-PLUG
代表 富川 万美

— 武蔵野市民防災協会運営費補助金交付要綱 —

防災課

○防災訓練事業

1 総合防災訓練

震度6弱以上の大地震の発生及び東海地震の警戒宣言を想定し、市、防災関係機関及び地域住民が一体となり発災直後における対応訓練を実施し、初動態勢の強化を図る。

平成28年度末に「地域防災力の充実強化に向けた総合防災訓練の再編」を図り、平成29年度から総合防災訓練を「展示型訓練」を中心として展開することとした。当日は、台風22号接近に伴う雨天のため、訓練規模を縮小して実施した。

(1) 予知対応型訓練(東海地震の警戒宣言を想定)

(日 時) H29.10.29 9:00~12:00
(場 所) 市内全域

(2) 展示型訓練(首都直下型地震想定)

(日 時) H29.10.29 9:00~12:00
(場 所) 武蔵野市役所、本宿小学校、本宿コミュニティセンター、ゆとりえ
(参加者数) 訓練総参加者数・・・576名
(内訳：参加職員200名、参加機関336名、市民40名)

(3) 訓練の体系

【予知対応型訓練】

情報伝達訓練	消防団による広報訓練
警戒宣言対応訓練	防災行政無線による一斉放送

【展示型訓練】

避難所開設訓練	受付訓練、防災倉庫資器材取扱い訓練、トイレ組立て訓練、特設公衆電話設置訓練
災害時地域支え合い ステーション開設訓練	本宿コミュニティセンターにおける「おもいやりルーム」開設訓練
障害者対応訓練	障害者受付訓練及び障害者に対する情報提供訓練
避難行動要支援者対策訓練	災害時要援護者安否確認訓練、避難行動要支援者安否確認訓練
福祉避難所開設訓練(新規)	福祉避難所の開設訓練及び介護トリアージ訓練
ペット対策訓練	ペット同行避難訓練時の啓発等
医療連携訓練	緊急医療救護所運営、災害拠点連携病院への搬送及び市災害時医療本部との通信訓練等

(4) 実施機関

市、警察署、消防署、消防団、その他関係機関及び市民

2 水防訓練・地震対策ひろば

本市では、地下駐車場や地階を伴った商業ビルやマンション等が多く建設されており、集中豪雨等による浸水被害を受けることが予想される。このような都市型の水災害に対応するため各種の水防活動訓練を実施している。

(日 時) H29.5.20 9:00~11:30

(場 所) 市立むさしの市民公園

(参加者数) 566名

(実施機関) 市、消防署、消防団、警察署、その他関係機関、ボランティア団体及び市民

機関連携訓練	監視警戒、パトロール訓練
	マンホール噴出防止工法
	積み土のう工法、連結水のう工法訓練
	資材搬送訓練
	救助救出訓練
市民参加訓練	土のう作製・情報伝達訓練
	家庭でできる水防技術講習会(生活用品を使った工法)
地震対策ひろば	煙体験
	起震車
	ガス復旧方法の確認
	家具転倒防止器具等の展示
	地震対策、浸水対策、雨水対策等の啓発
	住宅耐震化促進に関する案内
	被災地支援パネルの提示
	消防車両・警察車両の展示
	子ども用防火衣装着体験
スタンプラリー	
救命ボート展示	

防災課

3 はらっぱ防災フェスタむさしの

平成26年度から実施している展示・啓発ブース、市民の体験型訓練及び防災機関の活動周知などの普及啓発の部分に特化したイベントを、本年度も都立中央公園との共催で実施した。

日ごろ防災訓練等に参加が少ない方に参加してもらうため、楽しめるイベントを企画し、参加への垣根を低くすることで、平時、防災に触れ合う機会の少ない世代への啓発を促進し、地域防災力の向上を目指すことを目的としている。

(日 時) H29. 8. 26 10:00～13:00

(場 所) 都立武蔵野中央公園 原っぱ広場

(参加者数) 3,200名

(参加機関) 市、消防署、消防団、警察署、その他関係機関、ボランティア団体及び市民

啓発ブース	関係機関による防災対策や防災知識などのパネル展示・PR
体験ブース	起震車、初期消火、応急救護、煙体験など
子ども向けイベント	スタンプラリー・消防服の試着など
車両展示	消防・警察・自衛隊・建築業協会の車両を展示
炊出し訓練	自衛隊と日赤奉仕団による炊出しを行い、成果物のカレーを参加者で試食
短時間イベント	消防団による放水、水道管復旧作業、警備犬による服従訓練、子ども向けロープ渡り体験、消防署・警察署による救助・救出訓練

4 防災ボランティア訓練

災害ボランティア活動の拠点である市民文化会館を使用し、災害ボランティアセンター開設・運営訓練をおこなうことで、各機関の役割の再認識と体制の連携を図ることを目的として実施している。

(1) 初動期通信訓練

(日 時) H30. 1. 19 13:15～14:15

(場 所) 市 防災課、武蔵野市民社会福祉協議会事務室、市民文化会館事務室、国際交流協会事務室

(内 容) 各関係機関に設置しているMCA無線を利用し、災害発生状況の通知や各施設の被害状況確認、災害ボランティアセンター開設指示の伝達等を行い、災害時における情報伝達方法の確認および検証を行った。

(参加機関) 市 防災課・地域支援課、(福)武蔵野市民社会福祉協議会、(公財)武蔵野国際交流協会、(公財)武蔵野文化事業団

(2) 災害ボランティアセンター運営訓練

(日 時) H30. 1. 20 8:30～12:00

(場 所) 市民文化会館

(内 容) 武蔵野市災害ボランティアセンターの設置及び運営訓練を実施した。運営訓練では、受付・案内係、ニーズ係、マッチング係それぞれの役割の実施及び連携要領の確認のほか、新たに広報係による情報収集及び情報発信要領の確認を実施した。

(参加者数) 131名

(実施機関) 市 防災課・地域支援課、(社福)武蔵野市民社会福祉協議会、(公財)武蔵野市国際交流協会、(公財)武蔵野文化事業団、ボランティアセンター武蔵野、武蔵野まごころ連、(公社)武蔵野青年会議所、亜細亜大学・成蹊大学学生ボランティア、地域福祉活動推進協議会、武蔵野市民防災協会(防災推進員)、手話通訳者等

5 帰宅困難者対策訓練

東京湾北部を震源とした首都直下地震が発生、市内において最大震度6弱を観測し、鉄道等の公共交通機関が運行を停止し、吉祥寺駅周辺に多数の帰宅困難者が発生したことを想定し、吉祥寺駅周辺混乱防止対策協議会との共催で訓練を実施した。

(日 時) H30. 3. 11 14:00～16:00

(場 所) 武蔵野市役所、吉祥寺駅周辺及び一時滞在施設等

(内 容) (1)バスの活用による現地対策本部設置訓練
 (2)関係機関等における情報収集・伝達訓練(MCA無線等の活用)
 (3)防災安全センターでの防災カメラ等を活用した状況確認及び指揮命令伝達訓練
 (4)吉祥寺駅及び周辺での帰宅困難者の保護・一時待機訓練
 (5)帰宅困難者への情報伝達訓練
 (6)一時滞在施設への誘導訓練
 (7)支援物資搬送訓練
 (8)一時滞在施設における帰宅困難者受入れ及び支援物資提供訓練
 (9)帰宅困難者役参加者への啓発活動
 (10)職員参集メールの配信(午前9時配信)

(参加者数) 218名

(実施機関) 吉祥寺駅周辺混乱防止対策協議会(吉祥寺活性化協議会、JR吉祥寺駅、京王電鉄吉祥寺駅、関東バス武蔵野営業所、エフエムむさしの、J:COM武蔵野・三鷹、武蔵野警察署、武蔵野消防署、東京都西部公園緑地事務所、武蔵野商工会議所、武蔵野市開発公社、武蔵野公会堂、ブルーキャップ、吉祥寺まちづくり事務所、武蔵野市)、一時滞在施設協定締結事業所、コラボデリバリー(株)、自主防災組織、防災推進員、赤十字奉仕団、コラボデリバリー(株)、(株)アトレ吉祥寺店、(公財)武蔵野市国際交流協会、一般公募帰宅困難者役、地域の方々等

防災課

○災害対策用器具機材備蓄品整備

1 地域設置消火器

平成9年度から設置基準を見直し、設置間隔を60mに縮め、空白区域を補強・増設するとともに、保守・管理にあたっている。

(1)設置状況

種 別	設置場所	本数(本)	放射距離	放射時間
粉 末	市内各所	1,342	約5メートル	約15秒

(2)維持修理状況

処理事項	本数(本)
盗難、いたずらによる補充	6
減圧による交換	1
火災使用による交換	2
格納箱の修理・交換	58
一時撤去(移設含)	7
10年経過による交換	187
合計	261

2 食糧備蓄状況

震災時の避難人口を32,000人と想定し、クラッカーやアルファ米などを備蓄している。賞味期限到来まで1年を切った食糧については入れ替えを行い、防災訓練等が行われる際に供出している。

(1)クラッカー

入替数量 24,150 食
 H30. 3. 31 現在 96,750 食
 備蓄数の5%をアレルギー対応食としてライスクッキーに変更した。平成29年度は5校分(1,200食)

(2)アルファ米

入替数量 24,000 食
 H30. 3. 31 現在 112,000 食

(3)副食(缶詰)

入替数量 32,400 食
 H30. 3. 31 現在 78,000 食

(4)飲料水(500m l ペットボトル)

入替数量 8,040 本
 H30. 3. 31 現在 32,000 本

(5)災害時要援護者用食糧(おかゆ缶)

入替数量 6,000 食
 H30. 3. 31 現在 12,000 食

(6)災害時要援護者用食糧(パン缶)

入替数量 5,040 食
 H30. 3. 31 現在 20,160 食

(7)災害時要援護者用食糧(粉ミルク 350g 缶)

入替数量 1,077 缶(うちアレルギー疾患用105缶)
 H30. 3. 31 現在 1,077 缶(うちアレルギー疾患用105缶)

防災課

○防災施設整備事業

1 防災行政無線設備

防災行政無線システムは、市から市民に直接情報を伝達する固定（同報）系無線と、市と市の施設及び防災関係機関相互の情報連絡を確保するための無線の2系統で構成している。H22年度に地域防災無線（アナログ800MHz帯）から防災用MCA無線へ設備更新し、デジタル化を図った。

H29年度は小金井公園、武蔵野建設業協会、アライブ武蔵野御殿山、平山モーターズ(株)、東京土建一般労働組合三鷹武蔵野支部にMCA無線の増設を行った。また、半固定型及び車載型にIP無線網も利用可能となる基盤の追加を実施した。

(1)固定系設備設置状況

構成	局数(局)	出力
親局	1	0.5 W
屋外拡声子局	47	
屋内戸別受信機	82	

(2)防災用MCA無線設備設置状況

構成	局数(局)	出力
陸上移動局		2 W
統制型無線機	5	
半固定型無線機	135	
携帯型無線機	53	
車載型無線機	1	

2 災害対策用井戸整備

平成9年度から、災害時の水源確保のため、避難所となる市立小・中学校に井戸の設置を進めてきた。

<設置状況>

H29.3.31現在18ヵ所に設置済

3 下水道直結型トイレ整備

平成20年度から、災害時のトイレ確保のため、避難所となる市立小・中学校に設置を進めてきた。

<設置状況>

H29.3.31現在18ヵ所に設置済

○防災啓発事業

1 地域防災訓練（共催・後援）

地域住民等による自主的な防災訓練や防災課職員による講話・講演、防災PR用品の配布、炊き出し用器材の貸し出し等、コミュニティセンター、学校、公園などを拠点に計279回行われた。(回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
貸出	8	7	12	13	6	23	11	23	12	16	4	6	141
訓練	3	5	7	6	3	14	13	18	4	—	2	5	80
講話・講演	2	8	3	2	—	—	2	5	5	2	2	4	35
打合せ・会議	—	9	5	2	1	1	—	—	1	2	1	1	23
計	13	29	27	23	10	38	26	46	22	20	9	16	279

2 武蔵野市防災情報マップ、防災ハンドブックの作成・配布

防災情報マップ：14,000部増刷した。(平成29年7月)

防災ハンドブック：平成25年に作成した防災ハンドブックに、市の避難行動支援体制や災害時医療救護体制などを新たに記載し、80,000部作成した。(翌年度5月～6月に全戸配布)